資料１

次期柏市環境基本計画に関する骨子案について

次期柏市環境基本計画　骨子案

1．計画の基本的事項

●計画策定の背景・位置付け

・柏市環境基本計画（第三期）（現行計画）の計画期間が令和7年度で終了することから、新たな柏市環境基本計画を策定する。

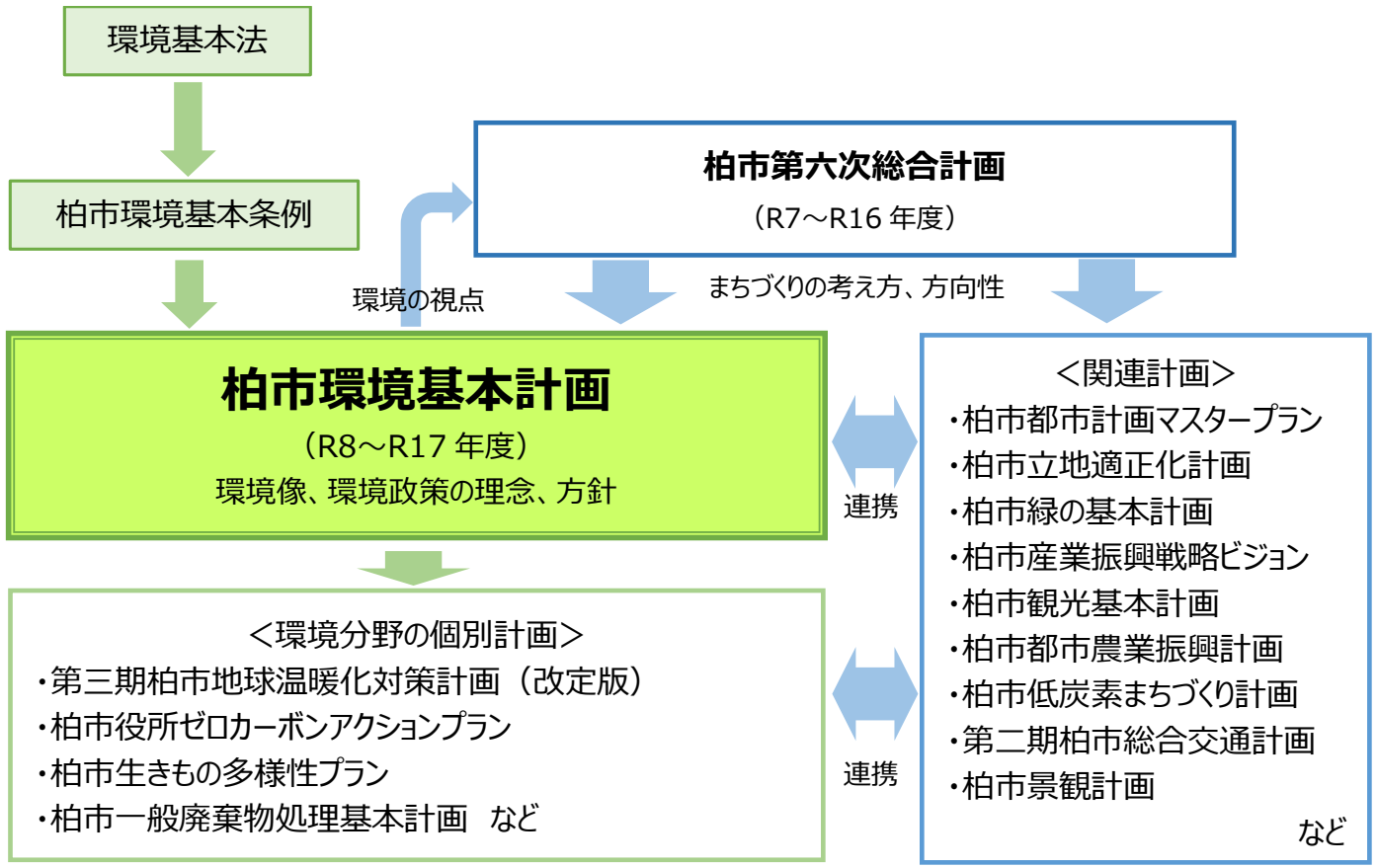
・柏市では、令和7年3月に柏市第六次総合計画を策定した。

・次期柏市環境基本計画は、柏市第六次総合計画を上位計画として、まちづくりの考え方、方向性を共有し、環境面からまちづくりを推進する、**環境分野のマスタープラン**である。

●計画の期間

・計画期間は**令和8年度～令和17年度**とする。

■計画の位置付け



2．環境の現状と課題

●柏市の現状と課題

・環境に関する基礎調査から、柏市における環境の現状及びそこから導き出される課題を抽出した。

項目	現状	課題
地域特性	・河川、湖沼、谷津、田畑等の自然資源を有する ・土地利用は宅地の割合が最多 ・人口・世帯数は増加傾向 ・総ごみ量は横ばい、資源化率は低下傾向 ・市域内の再エネは太陽光発電の導入実績があり、導入設備容量は増加傾向（FIT制度による把握） ・第1次産業・第2次産業の就業者数は減少傾向、第3次産業は増加傾向 ・自動車保有台数は緩やかに増加傾向	**・市の豊かな自然資源の保全の推進** **・自然との共生の推進** **・3R+Rの推進** **・市民・事業者における再エネ導入のさらなる促進** **・市民・事業者における省エネルギー行動の推進** **・公共交通、自転車、徒歩利用の促進** **・電気自動車・ハイブリッド自動車の普及促進**
柏市の環境データ	・市域の温室効果ガス排出量は令和4（2022）年度は2,063千t-CO_2（2013年度比16.2%減） ・河川のBOD※1は環境基準を満たさない年がある ・手賀沼のCOD※2は環境基準超過状態が続いている ・市は民間団体と共同で、環境イベント、学校の環境教育への支援、特定外来生物の駆除等を実施	**・公害等に係る各種項目の継続的な監視、対策の実施** **・手賀沼の水質改善に向けた取組の推進** **・自然環境や生物多様性の保全の推進** **・市民や事業者の環境保全意識の醸成、保全活動への参加促進** **・市民活動団体や事業者との連携強化**

※1　生物化学的酸素要求量
※2　化学的酸素要求量

次期柏市環境基本計画　骨子案

2．環境の現状と課題

●柏市の現状と課題

項目	現状（意見）	課題
国内外の動向	・国の第六次環境基本計画：環境保全とそれを通じた「ウェルビーイング※1/高い生活の質」が目的 ・世界的に気候変動対策や生物多様性保全の動きが加速 ・柏市第六次総合計画の策定 ・柏市気候危機宣言：ゼロカーボンシティを目指す	**・柏市第六次総合計画に示される「皆があこがれ、住みたい・住み続けたい、訪れたいと思うまち“リーディングコアシティ”」実現に向けた環境面からのアプローチ** **・ゼロカーボンシティ実現に向けた取組、行動変容の推進** **・環境への取組を通じた「ウェルビーイング」の実現** **・ネイチャーポジティブ※2に向けた取組推進**
事業者ヒアリング	・ヒアリングを行った3社すべて、市との協働について「機会があれば前向きに検討したい」と回答 ・市に求めること：サーキュラーエコノミー実現に向けた共同体の形成、企業同士のマッチングシステムの構築、事業への市民ボランティア募集の呼びかけ等	**・市-事業者、市民-事業者間の協働を増やすための仕組みの検討** **・環境に関する取組を行う事業者のマッチングシステムや、既存の協議会の活用等、事業者間の協働を推進する仕組みの検討**
市民活動団体ヒアリング	・メンバーの高齢化、若い世代の参加が少ない、人員不足等の問題 ・市に求めること：自然環境を損なわない開発・まちの活性化、連携の強化、市としてのネイチャーポジティブの主導等	**・市民（現役世代）の参加を増やす方法の検討** **・市からの情報発信による取組の後押し**

※1　ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に満たされた状態にあること
※2　ネイチャーポジティブ：生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること

次期柏市環境基本計画　骨子案

2．環境の現状と課題

●柏市の現状と課題

項目	現状（意見）	課題
アンケート※1	・柏市の環境教育の充実度で「そう思う」「少しそう思う」と答えた市民は1割程度 ・柏市の脱炭素への取組について、「満足」「不満」と答えた市民は2割４、「どちらともいえない」は6割 ・柏市は自然が豊かであると考える市民が多い ・自然環境の保全に興味があっても、地域の活動には参加していない市民が多い ・市民・事業者どちらも、省エネ・再エネ設備導入のハードルは「費用」	**・環境教育の充実に向けた検討** **・脱炭素（省エネ・再エネ）への取組の推進** **・市民にとって身近な緑や公園の維持・保全の推進** **・市民・事業者の、地域の環境保全活動等への参加促進** **・家庭・事業所への設備導入に対する補助制度の充実**
総合計画策定時ワークショップ※2	・既存の地域資源を活かしきれていない ・行政と住民の情報共有や、行政との共創が十分でない ・多様な人々、多世代がまちづくりに参加できる状態を望む声が多い	**・手賀沼をはじめとする地域資源の活用推進** **・市民と行政の共創機会の構築と推進** **・多様な人々、多世代の参加・協働に向けたプラットフォームの構築**

※1　令和6年度柏市まちづくり推進のための調査、柏市の環境についての市民・事業者アンケート
※2　新総合計画策定ワカモノワークショップ（2023年10月）、新総合計画策定市民ワークショップ（2023年11月）

・**子どもアンケート**（小5・中2対象：8～9月実施）、**市民ワークショップ**（8月開催）を開催し、幅広い世代の意見を把握予定。

次期柏市環境基本計画　骨子案

３．基本構想

●**目指す環境像**：将来のありたい柏市の環境の姿

目指す環境像	意味
多様な人々が共創し、 環境にくらしと経済が調和した 未来を育むまち・柏	・**多様な人々が**：市民だけでなく、柏に訪れる人・柏で活動する人・企業・団体・研究機関等、様々な人を表す。多様性が求められる社会を表現する意味でも「多様」という言葉を使用。 ・**共創し**：複数の人や組織が協力し、それぞれが持つ異なる知識や経験等により、新しいものや革新的な成果を生み出すこと。 柏市第六次総合計画の将来の姿で「新たな価値の創造に挑戦」することとしているため、これを「共創」という言葉で表現。 ・**環境にくらしと経済が調和した**：エネルギーの効率的な利用や、資源循環による環境配慮型の社会経済活動が人々のくらしの中に定着し、自然や生きものが人の手で守られ、環境と人のくらし・経済がバランス良く保たれた状況を「調和」という言葉で表現。 ・**未来を育むまち・柏**：人々の共創により、環境負荷の総量が減り、水と緑などの豊かな自然が人々の手によって守られ、未来の柏を育み次世代につながる快適なまちの姿を表す。

次期柏市環境基本計画　骨子案

3．基本構想

●**基本方針**：柏市が目指す基本的な方向性

目指す環境像

基本方針	詳細・主な根拠
1　脱炭素の実現による リーディングコアシティを目指します 地球温暖化による気候変動に歯止めをかけるため、再生可能エネルギーの利用やエネルギーの地産地消に向けた脱炭素を実現し、**誰もがあこがれる住みたいまち＝リーディングコアシティ**を目指します。	**・地球温暖化対策はすべての環境分野に影響を与える、大きな問題である。 →あらゆる環境分野から配慮すれば地球温暖化を食い止めることもできる。** **・あらゆる環境面からのアプローチを行うことにより、該当環境分野が改善されるだけでなく、脱炭素社会の実現にも貢献できる。** ＜主な根拠＞ ・柏市第六次総合計画に示されるまちづくりの核となる考え方（リーディングコアシティ） ・柏市第六次総合計画　重点テーマ３「未来に備える防災・減災と気候変動対策」 ・気候危機宣言（令和4年）　・柏市地球温暖化対策計画
2　環境保全を通じた ウェルビーイングの向上を目指します 持続可能な資源循環と自然との共生社会の調和を構築し、くらしにうるおいを感じ、心も身体も満たされる”ウェルビーイング”の向上を目指します。	・エネルギーなどの資源循環が図られ、環境が良くなれば、快適な生活を送ることができる。 ・生活や活動を通して、自然やみどりを感じることができれば、健康面にも良い影響を及ぼす。 **・環境改善・質の向上が人々の心身に良い影響を与える（ウェルビーイングが向上する）ことで、人どうしとの繋がりやコミュニティ形成の促進も図られる。** ＜主な根拠＞ ・柏市第六次総合計画　重点テーマ1「全世代に向けた学び・健康・社会参加」 ・柏市第六次総合計画　重点テーマ2「エリアごとの特徴を生かした地域経済・産業の振興」 ・第六次環境基本計画（国）

次期柏市環境基本計画　骨子案

3．基本構想

●**基本目標**：5つの分野別基本目標

目指す環境像

基本方針

分野	基本目標	範囲
地球環境	**地球温暖化対策の推進**	省エネ・再エネ（緩和策）、熱中症対策等の気候変動への適応（適応策）、エネルギー・食・地域資源の地産地消など
自然環境	**自然との共生の推進**	自然・生態系の保全、外来生物対策、緑地、水辺空間など
資源循環	**循環型社会の形成**	ごみの減量、リサイクルの推進、ごみ処理体制の整備など
生活環境	**安全な生活環境の確保**	公害対策（大気、水質、土壌、化学物質等）、不法投棄対策、環境美化など
環境共創	**環境保全の取組が広がる機会の創出**	企業・団体・学識などの各主体と行政や市民との連携、環境教育、情報発信、交流、つながりの構築等による新たな価値の創造など

補足：柏市環境基本計画　分野の変更について

現行計画における分野

分野名	分野の範囲
自然環境	■生物や生態系に関する自然的要素 →生物・生態系・水域・緑地など
生活環境	■人の生活や活動に伴い環境に変化を与える要素 →大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌・地盤沈下　等 資源循環・廃棄物
快適環境	■自然環境の回復条件の創出・良好な生活環境の整備等に関する創造要素 →都市の緑化・水辺の整備・都市景観
地球環境	■人の活動が地球規模の環境に影響を与える要素 →地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨・海洋汚染・野生生物の種の減少

次期計画における分野（案）

分野名	分野の範囲
地球環境	省エネ・再エネなどの温室効果ガスの削減（緩和策）、熱中症対策などの気候変動への適応（適応策）、エネルギー・食・地域資源の地産地消など
自然環境	自然・生態系の保全、外来生物対策、緑地、水辺空間など
資源循環	ごみの減量、リサイクルの推進、ごみ処理体制の整備など
生活環境	大気、水質、土壌、化学物質などの公害対策、不法投棄、環境美化など
新 環境共創	企業、団体、学識などの各主体と市民や行政との連携、環境教育、情報発信、交流、つながりの構築等による新たな価値の創造など ※すべての分野に直接的・間接的に関係し、基盤となる

次期柏市環境基本計画　骨子案

４．施策の展開

●施策体系（案）

目指す環境像	基本方針		分野	基本目標	施策
多様な人が共創し、環境にくらしと経済が調和した未来を育むまち・柏	1 脱炭素の実現によるリーディングコアシティを目指します	2 環境保全を通じたウェルビーイングの向上を目指します	地球環境	地球温暖化対策の推進	**重点：再生可能エネルギーの普及・利用促進** 1．エネルギーの効率的な利用の促進 2．環境に配慮したまちづくりの促進 3．気候変動への適応
			自然環境	自然との共生の推進	**重点：生物多様性の保全と再生** 1．生態系ネットワークの形成 2．快適な緑の空間づくり
			資源循環	循環型社会の形成	**重点：ごみの減量と資源循環** 1．３R+Rのさらなる推進 2．安定的な処理体制の推進
			生活環境	安全な生活環境の確保	**重点：水質環境の維持・保全** 1．大気等の生活環境の維持・保全 2．環境美化の推進
			環境共創	環境保全の取組が広がる機会の創出	**重点：環境を学び・育む機会の推進** 1．市民や事業者等とのつながりと共創・協働の推進 2．環境保全による地域の魅力向上

施策の方向性

第2回審議会以降で審議

次期柏市環境基本計画　骨子案

＜参考＞目指す環境像、基本方針等の関係図

- 基本方針の実現により、**ゼロカーボンシティの実現、環境の改善・向上による心身への好影響、それにともなう人どうしのつながりやコミュニティ形成の促進等**が期待され、目指す環境像の実現につながっていく。
- 目指す環境像を実現することは、第六次柏市総合計画に示されるまちづくりの推進につながる。

柏市第六次総合計画（上位計画）

環境面からのまちづくり・
持続可能（サスティナブル）なまちの実現

次期柏市環境基本計画

目指す環境像

多様な人々が共創し、環境にくらしと経済が調和した　未来を育むまち・柏

ゼロカーボンシティの実現
すべての環境分野への好影響

心身への好影響
⇒人どうしの繋がり・コミュニティ形成作用

基本方針１
脱炭素の実現による
リーディングコアシティを目指します

あらゆる環境面からの地球温暖化対策

基本方針２
環境保全を通じた
ウェルビーイングの向上を目指します

資源循環　快適な生活環境　自然・緑の整備

次期柏市環境基本計画　骨子案

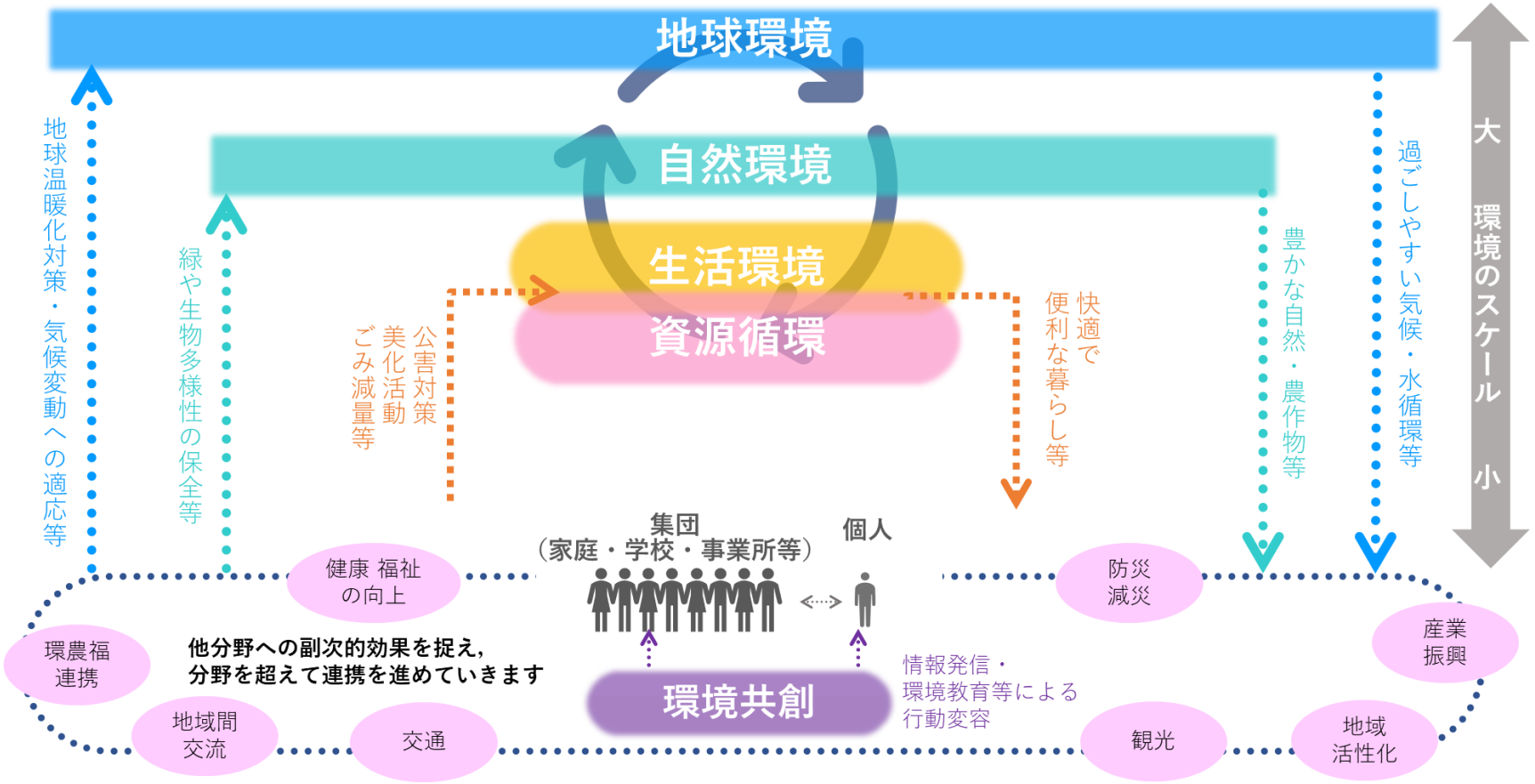
＜参考＞基本目標について

■分野のスケールの考え方

- **人を中心に**、身近な環境（生活環境・資源循環：公害防止・住環境・ごみなど）を内側に配置し、人だけでは作れない環境（自然環境：緑・谷津田・生物など）、地球レベルの環境（地球環境：脱炭素社会・気候変動など）と、外側に行くにつれてスケールが大きくなる。
- 環境共創（情報発信・環境教育など）は、**すべての分野に直接的・間接的に関係する**。

■影響関係

- 個人や集団（家庭・学校・事業所など）における**行動が、身近な環境から地球レベルの環境まで、分野すべてに直接的・間接的に影響**する。
- 各分野同士も互いに影響し合う。
- 環境共創の状況により、**人の行動による環境への影響の正負と大小が決まる。**



次期柏市環境基本計画　骨子案

４．施策の展開

●施策の詳細

分野	基本目標	施策	内容
地球環境	地球温暖化対策の推進	重点：再生可能エネルギーの普及・利用促進 1．エネルギーの効率的な利用の促進 2．環境に配慮したまちづくりの促進 3．気候変動への適応	**・再生可能エネルギーの普及・利用促進など温室効果ガスの削減（緩和策） ・気候変動への適応策 ・エネルギー・食・地域資源の地産地消　など**
自然環境	自然との共生の推進	重点：生物多様性の保全と再生 1．生態系ネットワークの形成 2．快適な緑の空間づくり	**・生物多様性の推進による自然環境や生態系の保全と回復 ・緑地や水辺空間の整備や経済・コミュニティ・自然的機能等の活用　など**
資源循環	循環型社会の形成	重点：ごみの減量と資源循環 1．３R+Rのさらなる推進 2．安定的な処理体制の推進	**・３R＋Rの推進と情報発信の強化 ・ごみ処理の収集運搬体制・施設の安定稼働の継続　など**
生活環境	安全な生活環境の確保	重点：水質環境の維持・保全 1．大気等の生活環境の維持・保全 2．環境美化の推進	**・大気・水質・土壌環境等の保全 ・不法投棄対策、環境美化に関すること　など**
環境共創	環境保全の取組が広がる機会の創出	重点：環境を学び・育む機会の推進 1．市民や事業者等とのつながりと共創・協働の推進 2．環境保全による地域の魅力向上	**・人々の行動の重要性を踏まえた周知・啓発及び情報発信 ・環境教育、共創・協働の構築や取組の推進に関すること など**

５．計画の推進

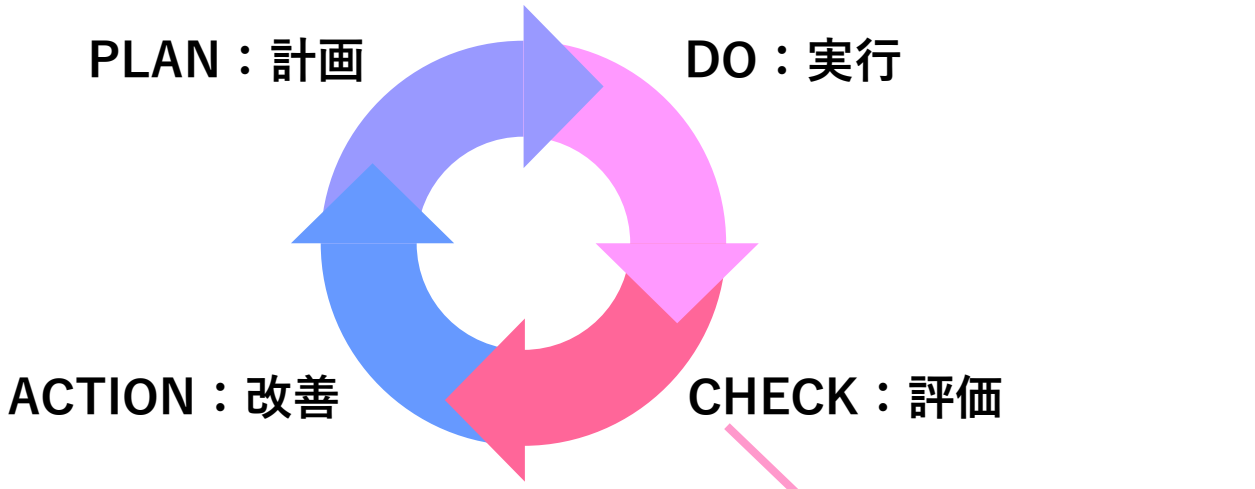
●計画の進捗管理

・重点施策を**PDCAサイクル（Plan：計画、Do：実施、Check：評価・点検、Action：改善）**に基づき進捗管理する。

・基本施策は、各個別の実施計画において進捗管理する。

●計画の推進体制

・柏市環境審議会においては、重点施策の評価を行う。



■PDCAサイクル

補足：次期柏市環境基本計画　計画の構成（案）

計画の構成（案）

章	内容
第１章　計画の基本的事項	計画策定の背景、改定方針、位置づけ、期間、目的、対象、推進主体
第２章　環境の現状と課題	・環境に関する社会動向 ・柏市の環境の現状と課題
第３章　基本構想	・目指す環境像 ・2つの基本方針 ・5つの基本目標 ・目指す環境像、基本方針、基本目標の関係図
第４章　施策の展開	・施策体系 ・重点施策・施策・施策の方向性 ・市民・事業者・市が取り組むべき事項
第５章　計画の推進	・計画の進捗管理 ・計画の推進体制
資料編	